

平成9年度第3回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時： 1997年4月5日（土） 13:30～17:30

場所： 愛知県中小企業センター（名古屋）

出席者： 宝谷会長、郷（通）副会長、松本次期会長、美宅編集実行委員長、青木、赤坂、垣谷、桂、木島、木下、桐野、郷（信）、月原、豊島、永山、日比野、三木、安永

報告事項：

1. 「生物物理」交換誌情報交換方法について（美宅） 資料：報告1
雑誌「パリティ」に雑誌情報として掲載している「生物物理」の目次について、現在は発行後の目次を打ち込んでいるため情報が古くなることもあり、発行前の目次（案）情報をあらかじめ送ってほしいとの要望が丸善よりあり、その意向に応ずる事にした。
2. 会誌発行部数について（美宅） 資料：報告2
平成9年度会誌発行部数の内訳について、会員分3500、エーイー企画分80、リアライズ社保管分70、計3650部とする。
3. 日本生物物理学会各種検索サイト登録について（安永） 資料：報告3
1) 日立中部ソフトウェアより、製品に添付するURLデータベース中に本学会のホームページを掲載したいとの要望があり、了承した。2) 会員からホームページをYahooなどの検索サイトに登録してほしいとの要求があり、登録を進める。3) ホームページの改良についての報告。
4. 分野別専門委員会選考の件（石渡、資料のみ） 資料：報告4
上記についての最終選考結果が報告された。
5. 「生物物理」編集実行委員会構成員選考規定（石渡、資料のみ） 資料：報告5
上記について、最終案が報告資料として提出され、了承された。

6. 「生物物理から見た生命像3」の出版遅延について（宝谷）
当初予定より遅れ、今年8月に出版の見通しである。
7. Genes to Cell について（桂） パンフレット
上記雑誌について、生物物理分野での知名度が低く投稿数が少ない現状についての報告。投稿先候補として考慮・宣伝してほしいとの要望があった。
8. 日本学術会議会員候補者の資格認定（宝谷）
上記について、和田（生物物理、推薦人：伏見）、堀田（分子生物、推薦人：郷 通）両氏が学術会議により認定されたとの報告。
9. 生物物理学研連（3月26日）について（郷信）
学術会議における研連見直しの動きについての報告。非推薦研連を専門委員会に変更する案が審議されている。現状では生物物理学研連は残りそうな見通しではあるが樂觀は出来ない状況である。
10. 東アジア生物物理学シンポジウムについて（宝谷）
5月に北京で行われる上記シンポジウムについて、日本側の登録者数55名、うち発表者47名。次回は2000年に韓国で開催される。
11. 生物物理若手の会（夏の学校）援助について（宝谷）
従来通り年間20万円を若手の夏の学校（瀬戸市、7月21日～24日）に援助する。
12. 年会について（郷信）
第35回年会の参加案内号を周辺500人に発送。シンポジウムは計18、予稿の締め切りは郵送が5月31日、ホームページへの書き込み方式は6月30日。また、36回年会（九州）におけるシンポジウム担当には赤坂委員、キーワード・分野別専門委員担当には桂委員が当たることが決定した。
13. 物理学会との関連について（垣谷）
物理学会内にある分科見直しの動きに対して、生体物理分科は存続させるべしとのスタンスを再確認。

14. 編集実行委員、地区委員名簿及び次号以降の発行予定（美宅） 資料：報告6
上記名簿の提出と会誌の次号以降の編集刊行スケジュールについての報告。

15. 生物物理小辞典について（美宅）

講談社ブルーバックスから刊行される上記辞典の編集スケジュールについての報告。
今年中に項目決定、その後原稿依頼をする。

議題：

1. 平成8年度決算報告（案）の承認（桐野） 資料：議題1

上記の収支決算（案）が報告され承認された。第35回年会時の総会で最終承認を受ける。機関・賛助会員の漸減状況について、積極的に対策をとるべきと言う意見が出された。また学生・一般の会員資格確認について、学会事務センターと相談する。広告収入の増加などにより、今回の決算は余裕が出来たが、より財政を健全化するために、年会費の値上げを考えてもいいのではないかという意見も出された。

2. 平成9年度予算案について（桐野） 資料：議題2

平成8年度の総会にて決定された平成9年度予算案の執行上の留意点について意見交換を行った。とくに年会関係経費は平成8年度実績が約425万円であるのに対し、平成9年度予算額は300万円。従って、広告・展示収入や協賛金等で差額をまかなう必要がある。

3. 平成10・11年度委員候補者補充の件（木島） 資料：議題3

3月31日現在で会員により推薦された上記候補者数は29。昨年と同様に、さらに運営委員から推薦を募って候補者を増やし、選挙を行う。各運営委員は特に推薦する候補3名と、推薦する候補50名を記入の上会長室に郵送する。

4. 平成10年度選挙要項の承認（木島） 資料：議題4

A. 平成10・11年度委員選挙 B. 日本生物物理学会が推薦する科学研究費審査委員候補の2つについて、会誌6月号に掲載予定の選挙要項案の文面について討議した。主な変更点は、(A) 委員の免疫規定についての項を入れる (B) 候補の年齢が60歳

以下との記述を、何月何日現在で60歳以下とするかを明記する、など。

5. 「生物物理」特集号の提案（桂） 資料：議題5
「新しい生命論」（編集：柳田敏雄、松本元）、「情報生物学」（編集：五条堀孝、郷信広）の2つのテーマについて特集号を組む提案が了承された。
6. 「生物物理」広告掲載会社について（木下） 資料：議題6
会誌の広告掲載会社が減少傾向にあることより、各運営委員に対して、積極的に会社に声をかけてほしいとの要望。
7. 生物物理学会顧問について（宝谷） 資料：議題7
OBが学会関連の活動を行う際の肩書きとして、顧問職を制定してはどうかとの提案があった。会長選任事項として、過去の会長・副会長経験者を会長と次期会長名で選任するという提案が了承された。
8. 東アジア生物物理学シンポジウム登録料援助について（宝谷） 資料：議題8
上記シンポジウムへの若手参加者のうちから選考した6名に対し、各8万円を援助する事が了承された。また、シンポジスト17名のうち、教授職以外の4名に登録料として各4万円を援助することが了承された。
9. 日本生物物理学会事務体制について（宝谷）
学会事務の仕事の一部を学会事務センターに移行させる案が討議されたが、現状を継続する方向での結論。将来の社団法人化などについても議論を始めていく必要があるとの意見が出された。
10. 次回運営委員会日程（宝谷）
平成9年7月5日（土） 13：30から
愛知県中小企業センター7階11会議室。